

【交換留学生】 留学はチャンス

今回のインタビューはテオ・パツハさん。テオさんは人文学部独自の交換留学のプログラムでドイツ・イエーナからの留学生です。7月下旬に帰国予定のテオさんは、自身の留学で感じたことをシェアできることがとてもうれしいとインタビューを快く受けてくれました。

一なぜ日本に来ることに決めたのですか、福岡大学を選んだ理由は？

私はイエーナで宗教学と哲学の勉強を始めました。「言語哲学」が一番好きな哲学の分野であり、非ヨーロッパ言語の勉強をしたいと思い、日本語を選びました。

私には、日本をルーツに持つ友達があります。彼は日本での面白くて楽しい経験を教えてくれました。そのことは、留学先を日本に選んだ理由の一つです。私は、日本の魅力に惹きつけられ、日本に呼ばれているような気持ちがしました。

イエーナで私と一緒に勉強をしていた日本人留学生は、留学するなら福岡が良いよとすすめてくれました。福岡は自然に囲まれ、住んでいる人はいつも優しく、福岡に来ることができてラッキーだと思いました。

一日本・福岡で興味があることは？

日本の文化・哲学と宗教の勉強に興味があります。西洋では、神道と日本の仏教は、あまり身近なものではありません。

来日した頃、私は日本語が全く分かりませんでした。神社・お寺と日本の生活について学ぶことで、日本語を理解できるようになりました。「好きこそものの上手なれ」ですね。もっともっと多くの人々とコミュニケーションがとりたい！！私にとって福岡は祇園・太宰府・南蔵院など宗教を学ぶことができる場所で、大学では茶道・華道・書道の日本文化を体験できました。留学するにはパーフェクトな場所です。ずっと日本に居たいくらいです。

一ドイツに帰った後は、何をする予定ですか？

私は、日本でたくさんの人々に助けられました。イエーナに戻ったら、日本人の留学生と互いに、ドイツ語と日本語を学び合いながらサポートができればと思っています。

また、日本に戻ってきたら、今回できなかった四国遍路と永平寺（曹洞宗大本山）での宿坊体験をしたいです。

一あなたにとって留学とは？

留学はチャンスです。もちろん、外国語はその言語を使われている国で学ぶのが一番の上達の近道ではありますが、留学することでその国の人々や文化に触れ、人の温かさを肌で感じることができましたし、母国との共通点も見つけることができました。そして、自分自身の個性やスキルに気付き、高めることのできるチャンスになりました。このチャンスを生かし、これからも精進していきたいです。

日本語や日本文化、その他たくさんのことを学び、日本での生活を大いに楽しんでいる様子のテオさん。この日本留学が彼の将来の道しるべになることを願っています。